

使徒の働き 第23章 11節

「その夜、主がパウロのそばに立って、『勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかししたように、ローマでもあかしをしなければならない』と言われた。」

居心地の良くない場所にひとりポツンとかくまわれたパウロが居る。その夜になって傍に立つお方がいる。灯りもなく、静寂が漂うところに近づいてくるお方がいる。パウロに近づいただけではなく、そばまで近づき立ちことばをかける。聞く者にとっては驚きであった。パウロを兵營にかくまった者にしか知り得ない場に近づき、そばに立ち、話しかける。それが、主の御声である。主が来られたのである。これも驚きである。

かくまわれ、暗やみで静まって居るパウロに、次なるステップを語る。直前に、勇気を出しなさい、である。かくまわれたパウロは、騒動で疲れ切り、暗やみのなかでうすくまっていたらう。だから、第一声は頑張りなさいではなく、勇気を出しなさいである。自分の力を振り絞ってではなく、語りかけてくださる主からのちからで立ち上がりなさいである。

それが、エルサレムで主の証人となったように、遠くローマでも証人となりなさい、との促しである。エルサレムで騒乱に巻き込まれ、かくまわれることになった。しかし、ローマでも証人であれ。

2023年4月2日